

業務名（業務コード）			混載貨物確認情報登録（H P K）															
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰 1	繰 2	条件								コード	入力条件／形式	
1		入力共通項目		an	398			M										
2		MAWB番号	MAB	an	20			M										MAWB番号を11桁以内で入力 ただし、孫混載仕分けの場合は、16桁以内で入力
3		孫混載及び無料期間適用表示	MKH	an	1			C										（1）システムにより蔵置料金計算を行う旨が登録されており、かつ無料期間を適用する旨が登録されている利用者である場合、以下の形式で入力 （A）MAWBが運送中（他空港向一括保税運送中及び同一許可内運送中は除く）の場合 ①孫混載仕分け以外で、かつ保管料の無料期間を適用する場合は、スペースを入力 ②孫混載仕分けで、かつ保管料の無料期間を適用する場合は、「Y」を入力 ③孫混載仕分け以外で、かつ保管料の無料期間を適用しない場合は、「A」を入力 ④孫混載仕分けで、かつ保管料の無料期間を適用しない場合は、「B」を入力 （B）上記（A）以外の場合 ①孫混載仕分け以外の場合は、スペースを入力 ②孫混載仕分けの場合は、「Y」を入力 （2）上記（1）以外の場合、以下の形式で入力 ①孫混載仕分け以外の場合は、スペースを入力 ②孫混載仕分けの場合は、「Y」を入力 （3）詳細は「混載貨物確認情報登録（H P K）」業務業務仕様書本文7．特記事項を参照
4		到着便名1	FL1	an	6			M										（1）航空会社コード＋フライト・ナンバーを入力 （2）フライト・ナンバーについては、3桁又は4桁の入力が可能。4桁目については、英・数記号が可、それ以外は数字とする。
5		到着便名2	FL2	an	5			M										便名の日付部を以下の形式で入力 DDMMM
6		到着空港	POT	an	3			C								IATA空港コード	省略した場合は、入力者から変換した空港コードを処理対象とする	
7		ジョイント混載	JNT	an	1			C										ジョイント混載貨物の場合は、「J」を入力
8		混載業	BBB	an	5			C								利用者コード		
9		貨物取扱開始年月日	SDT	n	8			M										貨物取扱開始年月日≦貨物取扱終了年月日≦システム年月日であること
10		貨物取扱開始時刻	STM	n	4			M										貨物取扱開始年月日時刻<貨物取扱終了年月日時刻<システム年月日時刻であること
11		貨物取扱終了年月日	EDT	n	8			M										貨物取扱開始年月日≦貨物取扱終了年月日≦システム年月日であること
12		貨物取扱終了時刻	ETM	n	4			M										貨物取扱開始年月日時刻<貨物取扱終了年月日時刻<システム年月日時刻であること
13	10	HAWB番号	HAB	an	20			M										（1）ジョイント混載貨物の場合は、混載業のHAWB番号を入力 ただし、別の混載業のHAWB番号は入力不可 （2）16桁以内で入力 （3）入力内容を無効にする場合は、先頭3桁に「XXX」を入力 （4）ジョイント混載貨物の場合で混載業のHAWB情報をすべて入力した場合は、「ENDBB」を入力 （5）MAWBに係る全HAWB情報を入力した場合は、「END」を入力
14	*	個数	PCS	n	6			C										
15	*	重量	WGT	n	8			C										整数部6桁、小数部1桁
16	*	重量単位コード	JTI	an	3			C								重量単位コード	省略した場合は、上位欄の重量単位を引き継ぐ KGM：キログラム LBR：ポンド	
17	*	特殊貨物記号	SPC	an	3			C								SPC（特殊貨物）コード		
18	*	事故貨物	DMG	an	5			C								事故コード	（1）複数の事故がある場合は、代表とするものを入力 （2）税関届出を必要とする事故は、先頭1桁目に「Z」を入力 （3）税関届出を必要としない民間の事故は、入力自由	
19	*	手作業記号	MST	an	1			C										（1）ロケーション管理を手作業で行う場合は、「M」を入力 （2）他所蔵置場所への搬入の場合は、入力不可

業務名（業務コード）			混載貨物確認情報登録（HPK）															
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰1	繰2	条件									コード	入力条件／形式
20	*	ロケーション	LOC	an	80			C										（１）以下の形式を入力 ロケーション、符号「,」、個数 例）ABC, 個数 ①ロケーション：３桁以上の英数字 ②個数：６桁以内の数字 ③単独ロケーション入力の場合、個数は省略可 ④複数ロケーション入力の場合、ロケーションと個数は対となっていること ⑤ロケーションと個数は「,」で区切ること （２）特殊貨物ロケーションコード（保管料対象）の場合 ロケーション（３桁）、符号「,」、個数 例）VAL（個数の省略可） VAL, 個数（複数ロケーション入力可） VAL/ABCD, 個数（「/」以降は自由入力） （３）SP貨物の場合は、先頭２桁に“SP”を入力 例）SPX（３桁で入力） （４）特殊貨物ロケーションコードは、５種類以内であること （５）スプリット貨物の場合、保税蔵置場単位のロケーション桁数の合計が８０桁以下であること。 （６）他所蔵置場所への搬入の場合は、入力不可